

資料番号	0608-01-001-09	0608-01-001-09	0608-01-003-01	0608-01-006-05	0608-01-006-06
調査年月	2004/6/8	2004/6/8	2004/6/8	2004/6/22	2004/6/22
調査者	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂
糸	素材 絹糸、緯糸共に絹	絹	絹	絹	絹
	タテ	絹	絹	絹	絹
	ヌキ	絹	絹(赤色)および緯糸	絹	絹
色	地色 暗赤紫色	暗赤紫色	外観は赤色	地:薄い土色 柄:青、黄、紫、赤	地色 薄い土色 柄部は青、黄、紫、朱
	木原 タテ				
	ヌキ				
加工技法	織技法 地部は変化朱子、柄部は変化平織り。緯糸は太い平糸と細い強撚糸を一越配列した紋織り。	地部は変化朱子、柄部は変化平織り。緯糸は太い平糸と細い強撚糸を一越配列した紋織り。地部では外観グループ状を呈し、柄部の花模様では更に「しほ」状効果を呈し模様部(花柄)で立体感を生み出している。	絹糸は生糸使い? 緯糸は赤色の太い糸と緯(細幅)糸を交互に配列し、部分的に緯糸の浮沈を絹糸の押え効果によって表現する。紋技法による効果と考えられる。	絹紡織(仮織による絹紡加工後、製織)緯紡糸は捺染加工によるもの	絹紡織り(仮織りによる絹紡加工後、製織)
	染技法				絹紡糸は捺染加工によるもの
	その他				
文様		バラ様花柄	ランダムなモアレ柄	花柄	花柄
形状			裂地		
用途		婦人向外衣用?	不明	絹外衣用	絹外衣用?
特記事項	地部では外観はクレーブ状を呈し、柄部の花模様では更に「しほ」状の効果を呈し、模様部(花柄)で立体感を生み出している。大胆な花柄を表現し、豪華さを強調している。	大胆な花柄を表現し、豪華さを強調している	「モアレ表現のマジック的表現」と云う付箋がある。表現法は極めて表現深い	紡表現による花柄は花弁、花蕊などを配する構成は、大胆かつ優雅な色調を呈する	紡表現による花柄は花弁、花芯などを色別に捺染加工してある。花柄、葉などを配する構成は大胆かつ優雅な色調を呈する。
調査所見					
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号	0608-01-006-07	0608-01-007-01	0608-01-008-02	0608-01-011-03	0608-01-011-04
調査年月	2004/6/8	2004/6/22	2004/6/22	2004/7/12	2004/6/22
調査者	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂
糸	素材	絹	絹	柄部はレーヨン	経糸:絹、緯糸:金糸
	タテ	絹	絹	絹	絹および丸撲金銀、
	又キ	絹	絹	絹	丸撲金糸
色	地色		ベージュ色	地部は黒色 柄部は赤及びグレー色	地部は金色 柄部は青、緑、朱、グレー色
	未記載				
	タテ				
	又キ				
加工技法	織技法	平組織ながら縞経糸の色糸を並列、又は交互に配列するなどで、格子縞の経縞で流れ状の効果を呈する。経糸の色糸配列の妙を巧みに生かした格子縞としては興味が深い。	縞柄の柄出しひは緯糸の浮き効果による	二重ビロード(シボンベルベット)で製織する 地部分は平織組織	経糸、緯糸ともに強撲糸にて、経糸は紫色、緯糸は薄い紺色にて製織し、絹ボイル調生地
	染技法		絹緯糸とも先染め糸	経糸、緯糸共に先染め糸	柄部分は経糸を濃淡のあるプリント染色
	その他				
文様	赤、黒、白の格子縞柄	絹縞柄	樹木様の柄	無地	不定形柄
形状	裂地				
用途	絹婦人服	絹外衣用?	絹外衣用?	婦人インナー用?	絹外衣用?
特記事項		縞柄表現は丸撲りの金糸を用い、縞の間隔は粗密の部分を巧みに配してユニークな縞柄を呈す。	地部分はジョーゼット(経、緯糸ともに強撲糸使用)織りとし、パイアル糸は先染めレーヨン糸を使用して製織し、ついで柄部分を残して他は溶解(溶剤は不明)することで模様を表現する。	薄い地合いのボイル調の生地ながら、玉色調の外観を呈する。	地部分は丸撲り金糸を絹糸緯糸ともに供し、柄部分の絹未染色糸を例えば刷毛で染色加工するようにボカシ効果を出す。概して金糸をベースしながら柄部は多色のグラデーション効果をもって豪華さを呈する
調査所見			所謂オパール加工による豪華な色柄を表現する		
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号	0608-01-012-08	0608-01-012-08	0608-01-014-05	0608-01-014-05	0608-01-019-05	
調査年月	2004/6/22	2004/6/22	2004/6/22	2004/6/22	2004/7/12	
調査者	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩	川口 浩	
名称	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	
糸	素材 絹	絹	絹	絹		
	タテ 絹	絹	絹	絹	絹、レーヨン	
	ヌキ 絹 柄糸絹	絹	絹	絹	絹	
色	地色 青色の基調色	青色の基調色	白、赤、青	白、赤、青	地部:濃紺 柄部:赤、紺	
	木原 タテ					
	ヌキ					
加工 技法	織 技法	地部分は経糸、緯糸ともに強撚糸によるジョーゼット織、柄部は無撚の太い平糸による紋織	地部分は経糸、緯糸ともに強撚糸によるジョーゼット織。柄部は無撚の太い平糸による紋織。緯糸(青色)は先染糸使用	単なる格子縞の織成であるが、縞柄には異色の配列で表現	経糸、緯糸ともに先染め糸	経糸、緯糸ともに強撚糸使いのジョーゼット地とパイル経はレーヨンを用い柄部分は溶出して柄表現。オパール加工による
	染 技法	緯糸(青色)は先染糸を使用		経・緯糸ともに先染糸		
	その他					
文様	不定形幾何学模様		格子縞柄		正方形、浮出し柄	
形状						
用途	絹外衣用?		絹インナー用?		絹婦人服地	
特記事項	地部分はジョーゼット織とし柄は紋織によって不定形な幾何模様。特に窓枠をもうけたような部分がユニークな裂地として特徴づけられている	地部分はジョーゼット織りとし、柄は紋織りによって不定型な幾何模様、特に窓枠を設けたような部分がユニークな裂地として特徴付けられる	一般に例を見ない格子縞柄を特色とする	一般に例の見ない格子縞柄を特色とする。	オパール加工による浮きだし柄は大柄な肉厚効果を出している。	
調査所見						
製作地						
製作年						
織名称						
法 量	縦					
	横					
	織耳					
備 考						

資料番号	0608-01-021-03	0608-01-023-07	0608-02-003-01
調査年月	2004/7/12	2004/6/8	2004/6/8
調査者	川口 浩	川口 浩	川口 浩
名称	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂	絹婦人服地絹布類裂
糸	素材	絹	
	タテ	絹	絹および箔撚糸
	又キ	絹	絹(赤色)および箔糸
色	地色	淡紺色	金色
	木原 山		
	タテ		
	又キ		
加工技法	織技法	絹糸、緯糸ともに強撚糸にて、絹糸は紫色、緯糸は薄い紺色にて製織し、絹ボイル調生地	絹、緯糸ともに強撚糸利用のジョーゼット地に箔撚糸を絹糸使いによる紋織り組織地
	染技法		
	その他		
文様	無地	不定型の幾何模様	
形状		裂地	
用途	婦人インナー用?	絹ガウン?	
特記事項	薄い地合いのボイル調の生地ながら、玉色調の外観を呈する。	柄表現の特色は絹糸箔撚糸は押し加工による扁平箔撚糸使いであることによる。これにより立体感のあるふくれ効果を呈している	
調査所見			
製作地			
製作年			
織名称			
法量	縦		
	横		
	織耳		
備考			